

平成31年 1月16日 県立教育研究所

平成30年度

小学校教育課程説明会

総合的な学習の時間

奈良県教育委員会事務局 学校教育課
指導主事 堺 隆宏

本日の内容

- I 育成すべき資質・能力の明確化
- II 総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び
- III 考えるための技法の活用
- IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成
- V プログラミング教育について

I 育成すべき資質・能力の明確化

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び
技能

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

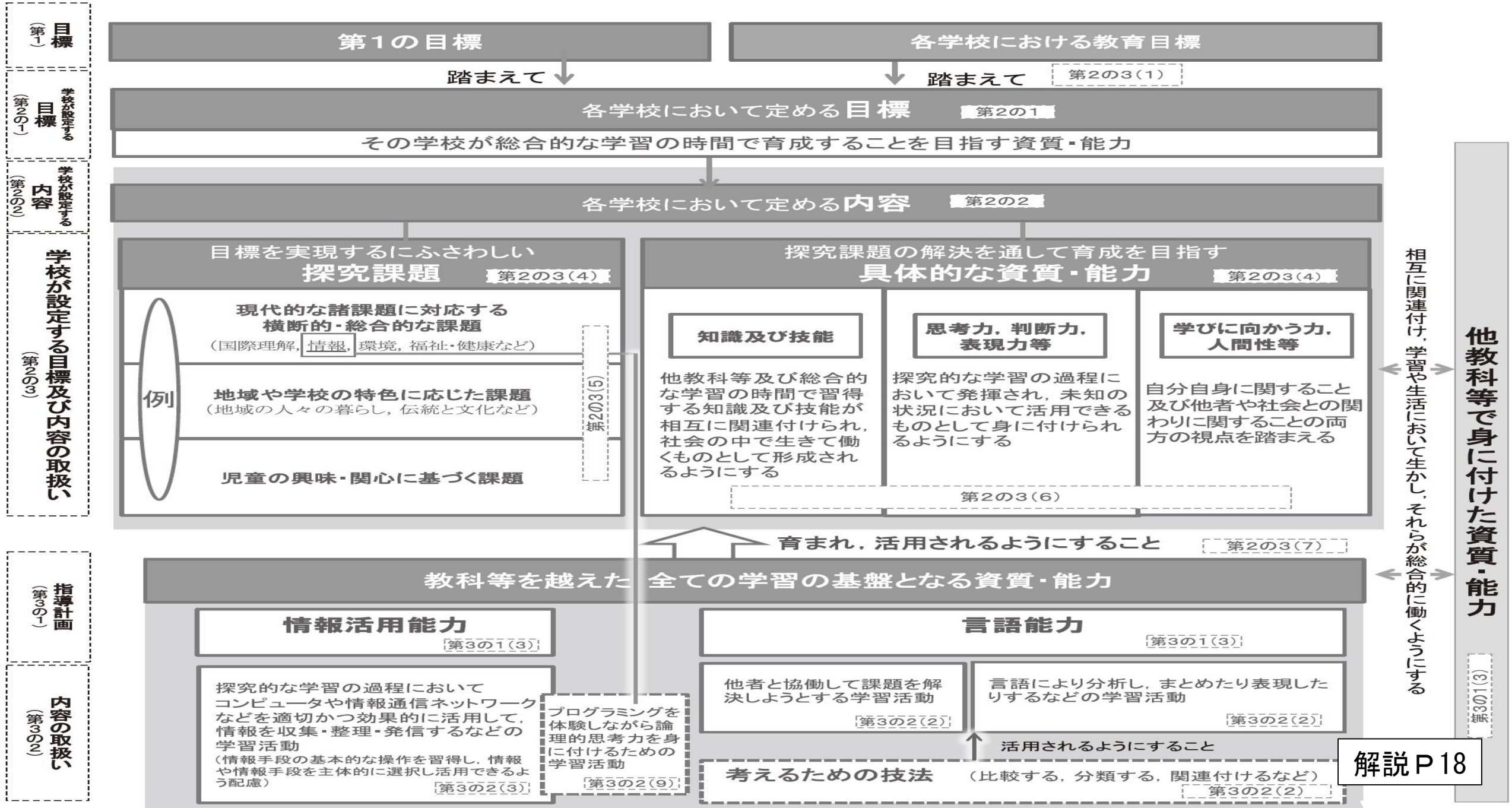
思考力、判
断力、表現
力等

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

学びに向かう力、
人間性等

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

第5章 総合的な学習の時間の構造イメージ（小学校）



(第1) 目標

(第2の1) 目標
学校が定める

(第2の2) 内容
学校が設定する

(第2の3) 学校が設定する目標及び内容の取扱い

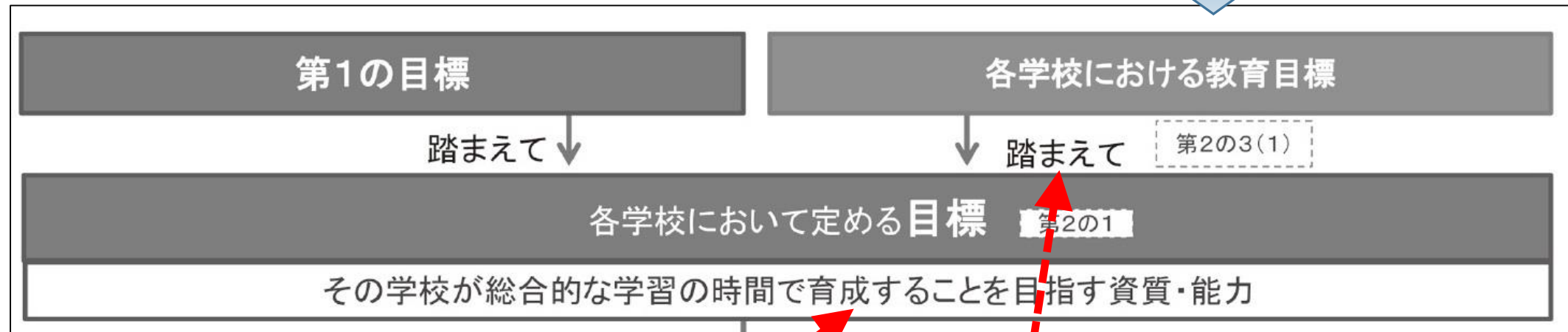
(第3の1) 指導計画

(第3の2) 内容の取扱い

第1章 総則 第2 教育課程の編成

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、（中略）、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第5章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする。



第5章 総合的な学習の時間 第2 各学校において定める目標及び内容

3 各学校において定める目標及び内容の取扱い

各学校において定める目標及び内容の設定に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。

第2 各学校において定める目標及び内容

2 内容

各学校において定める内容

第2の2

目標を実現するにふさわしい 探究課題

第2の3(4)

現代的な諸課題に対応する 横断的・総合的な課題

(国際理解, 情報, 環境, 福祉・健康など)

地域や学校の特色に応じた課題 (地域の人々の暮らし, 伝統と文化など)

児童の興味・関心に基づく課題

第2の3(5)

探究課題の解決を通して育成を目指す 具体的な資質・能力

第2の3(4)

知識及び技能

他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする

思考力, 判断力, 表現力等

探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにする

学びに向かう力, 人間性等

自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる

第2の3(6)

例

第2 各学校において定める目標及び内容

3 各学校において定める目標及び内容の取扱い

(6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること

ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにすること。

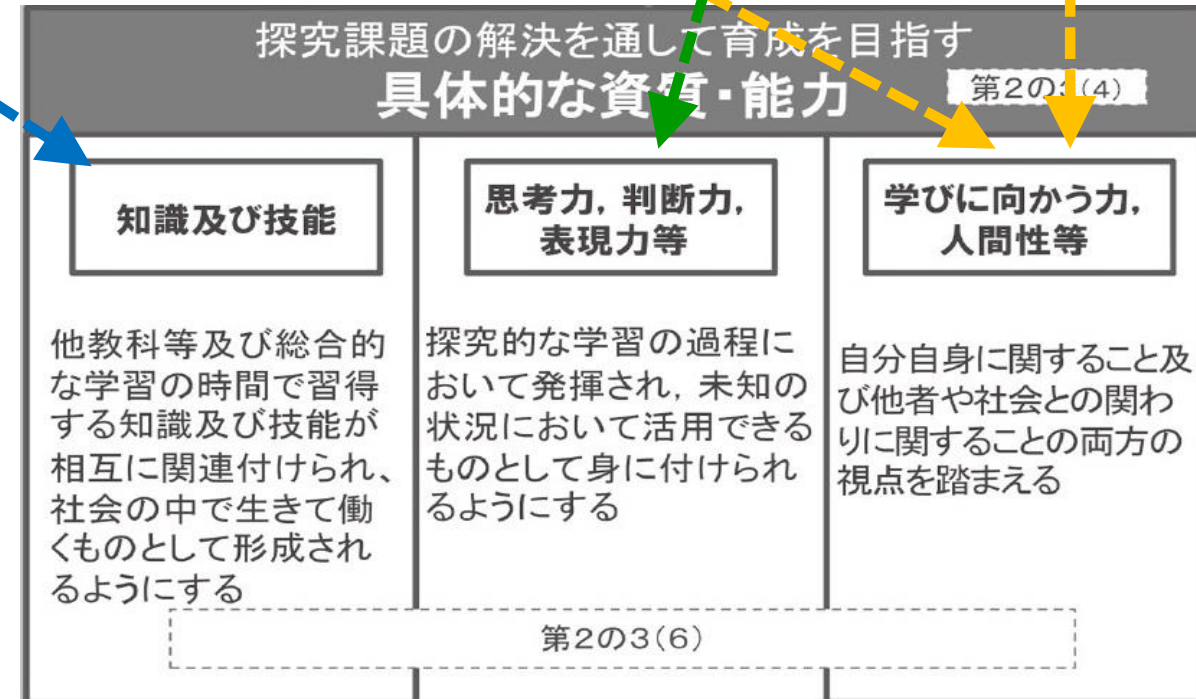
イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにすること。

ウ 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。

旧

第3の1(4)

育てようとする資質や能力及び態度については、例えば、学習方法に関すること、自分自身に関すること、他者や社会とのかかわりに関することなどの視点を踏まえること。



Ⅱ 総合的な学習の時間における 主体的・対話的で深い学び

(1) 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、児童や学校、地域の実態等に応じて、児童が探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童の興味・関心等に基づく学習を行うなど創意工夫を生かした教育活動の充実を図ること。

見方・考え方

「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」

〔探究的な見方・考え方〕

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること

主体的な学びの視点による学習指導

学習活動を発展的に繰り返していく過程を重視

課題設定と振り返りの充実を図る

対話的な学びの視点による学習指導

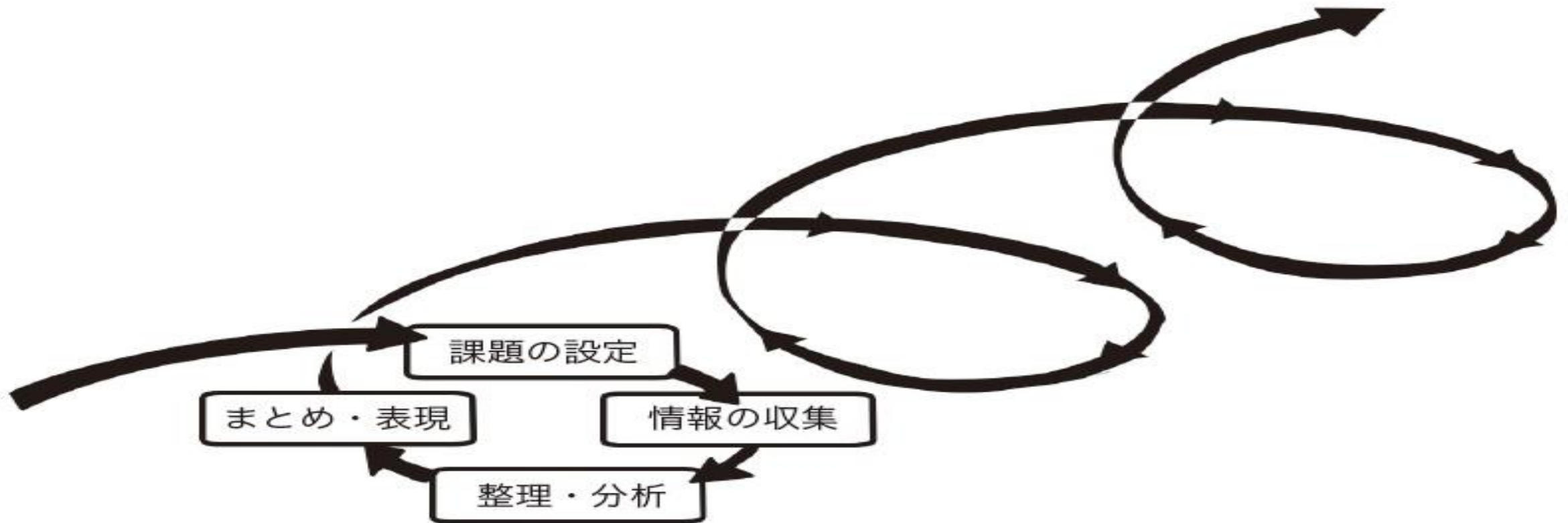
他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深めるような学びの充実を図る

深い学びの視点による学習指導

今まで以上に学習過程の質的向上を目指す

各教科等で身に付けた資質・能力を何度も活用・発揮できるような学習場面を生み出す

探究的な学習における児童の学習の姿



- 日常生活や社会に目を向け、児童が自ら課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

Ⅲ 考えるための技法の活用

考えるための技法とは・・・

考える際に必要になる情報の処理方法を、例えば「比較する」、「分類する」、「関連付ける」など、技法のように様々な場面で具体的に使えるようにするもの

考えるための技法の例

順序付ける 比較する 分類する 関連付ける
多面的に見る・多角的に見る 理由付ける
見通す 具体化する 抽象化する 構造化する

Ⅲ 考えるための技法の活用

考えるための技法を意識的に使えるようにするために

- 教師が声掛けする
- 可視化する

思考ツール

思考ツールの活用

～適切な思考方法で問題解決を図る手立て～

★思考ツール・・・「比べる」、「分類する」、「関連付ける」

「多面的に見る」、などの思考方法の
具体化を図る手立て

可視化と操作化で自ら学び、共に学ぶ

□課題解決に適した方法で考え、解決を図れるようになる

思考ツール活用の留意点

- ①**必然性**・・・使う必要があるか
- ②**適合性**・・・させたい思考に合っているか
- ③**充足性**・・・充分活用できるものか
- ④**簡便性**・・・児童に使いこなせるか

ボックスチャート

集めた情報を選んだりまとめたりして意見を集約する

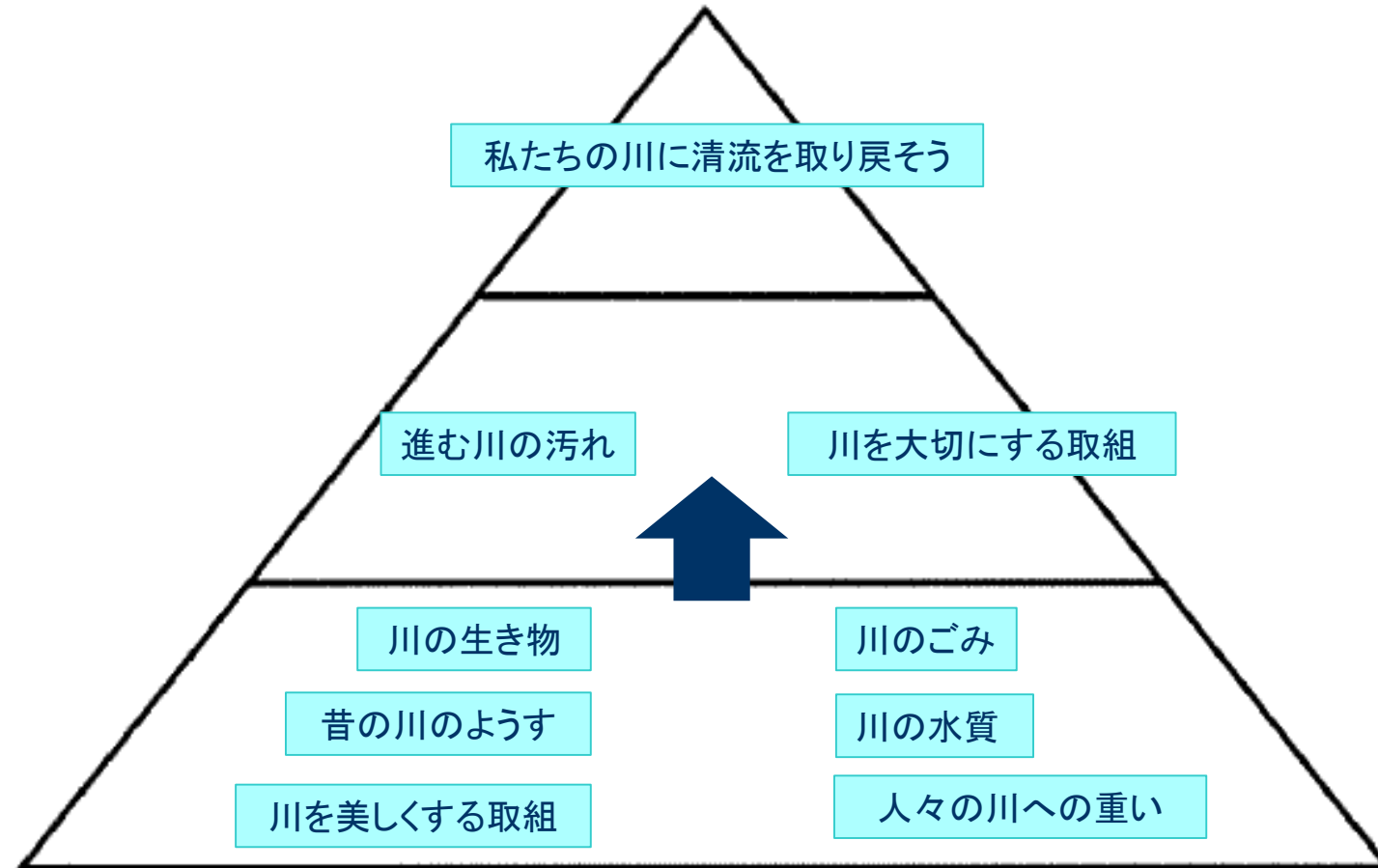


ピラミッドチャート

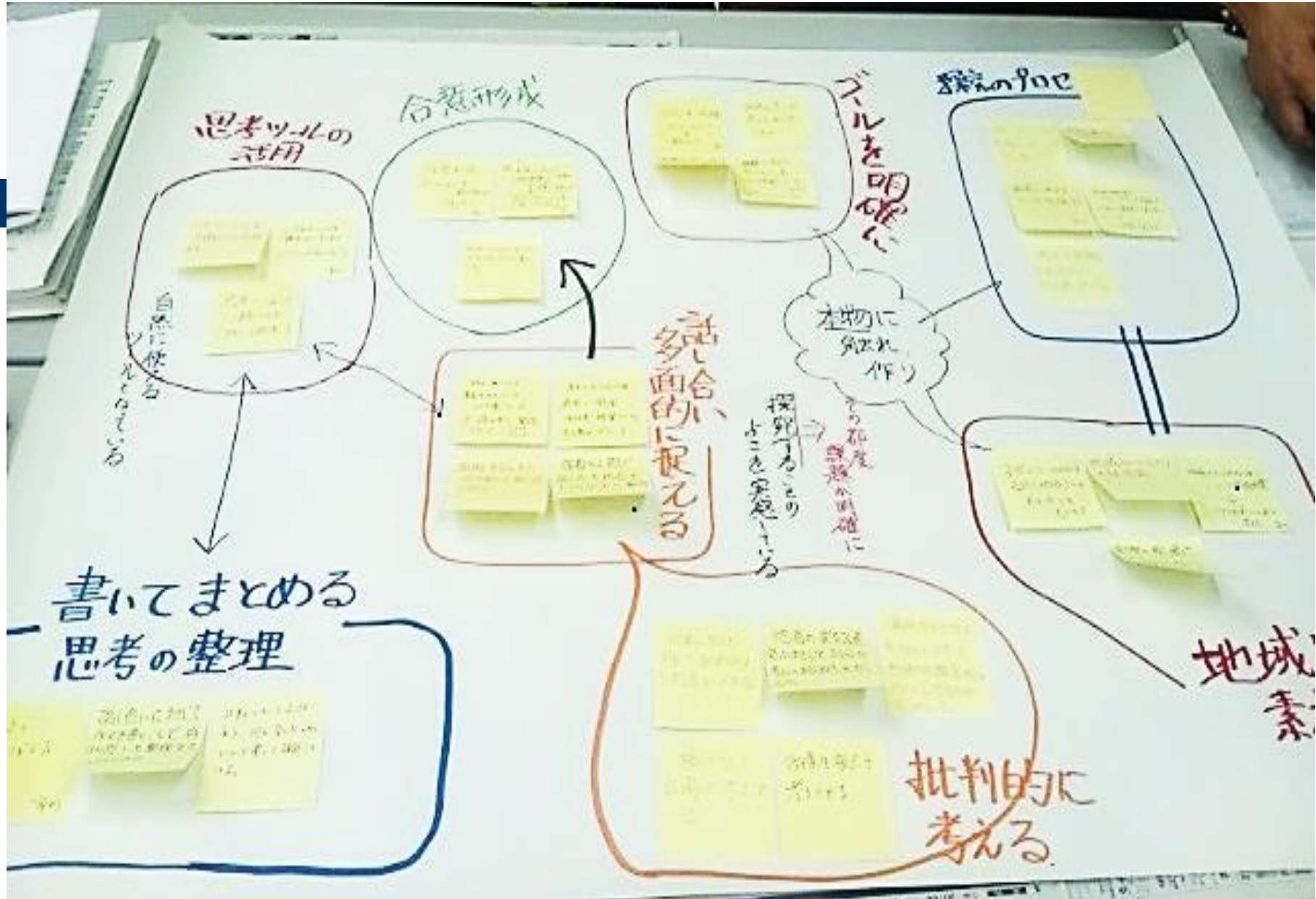


ピラミッドチャート

集めた情報を選んだりまとめたり
しながら最も主張すべき点を焦点化していく



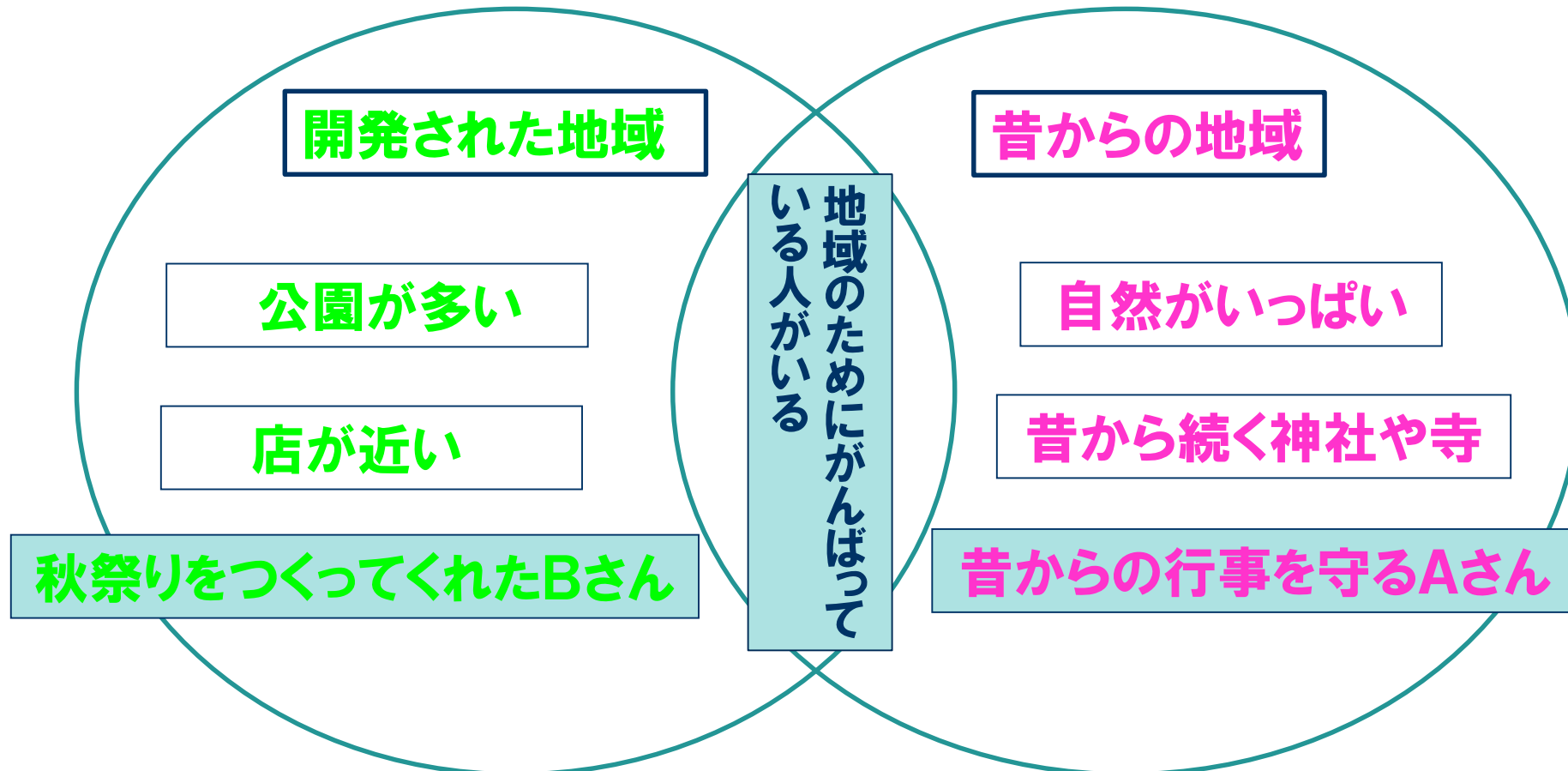
KJ法的な手法で分類



ベン図

～3年生 地域のよさを見付けよう～

「昔からの地域」と「開発された地域」のそれぞれのよさをベン図を通して、双方に共通するよさを見出し、地域への愛着を深める



ベン図

～3年生 地域の伝統野菜を育てよう～

育ててきた唐辛子に発生したアブラムシの退治方法を話し合い、グループで最適な方法を選択する



22枚の付箋紙

安全性

最適な手段

実現性

効果性

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

1 指導計画

全体計画

指導計画のうち、学校として、この時間の教育活動の基本的な在り方を示すもの。

年間指導計画

全体計画を踏まえ、その実現のために、どのような学習活動を、どのような時期に、どのように実施するか等を示すもの。

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

2 全体計画に盛り込むべきもの

必須の要件として記すもの

- 各学校における教育目標
- 各学校において定める目標
- 各学校において定める内容

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

2 全体計画に盛り込むべきもの

基本的な内容や方針等を概括的に示すもの

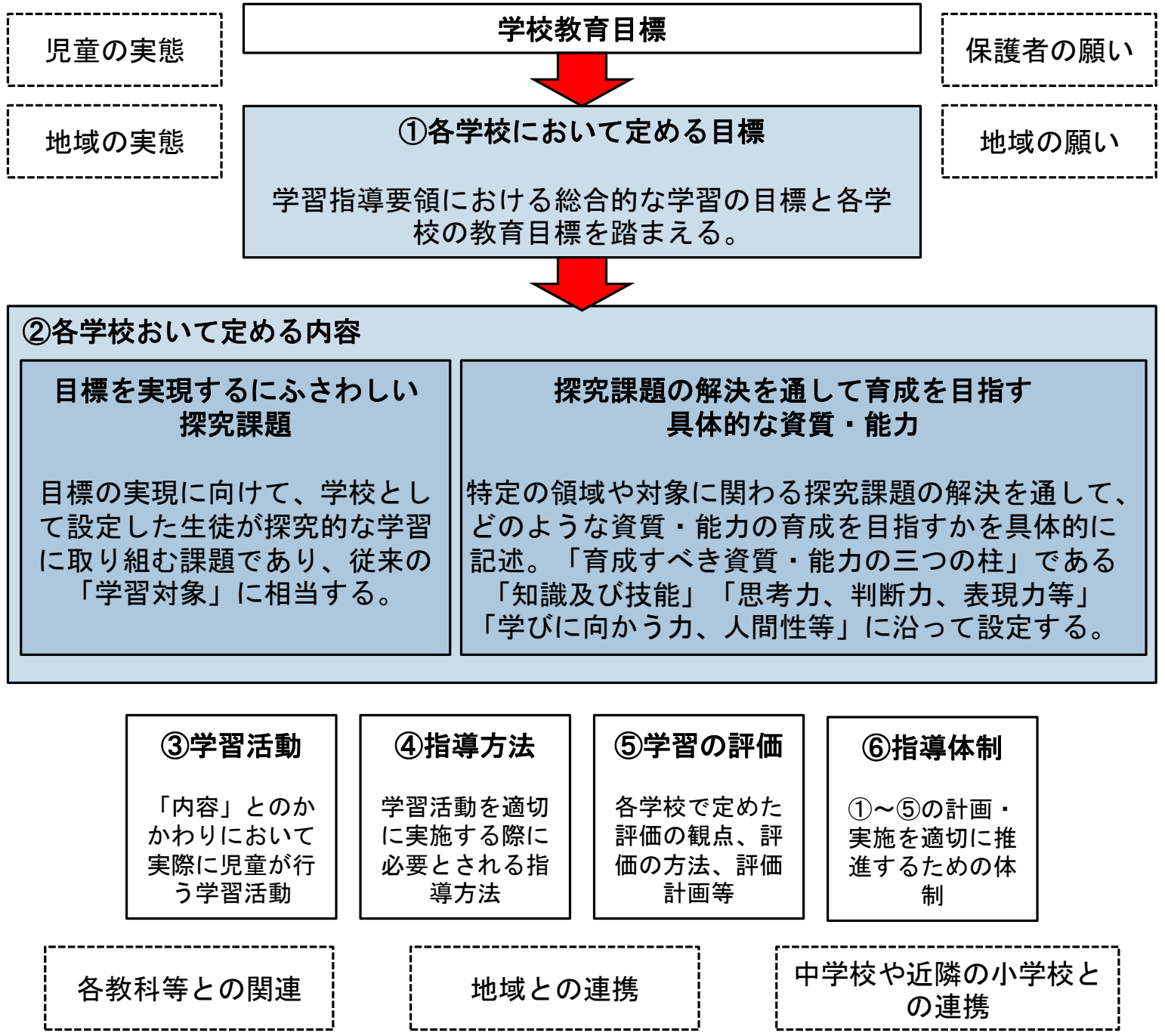
- 学習活動
- 指導方法
- 指導体制
- 学習の評価

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

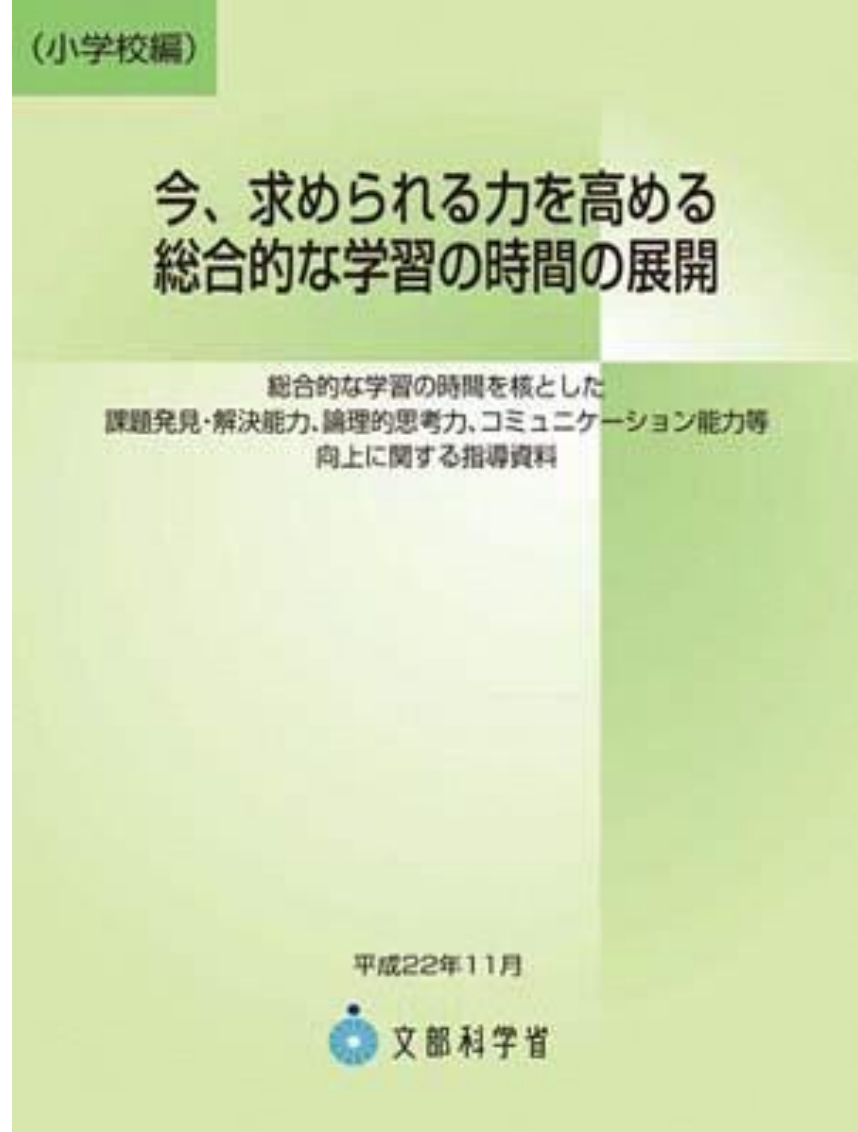
2 全体計画に盛り込むべきもの

その他、各学校が必要と考えるもの

- 年度の重点、地域の実態、学校の実態、児童の実態
保護者の願い、地域の願い、教職員の願い
- 各教科等との関連、地域との連携、中学校との連携、
近隣の小学校との連携 など

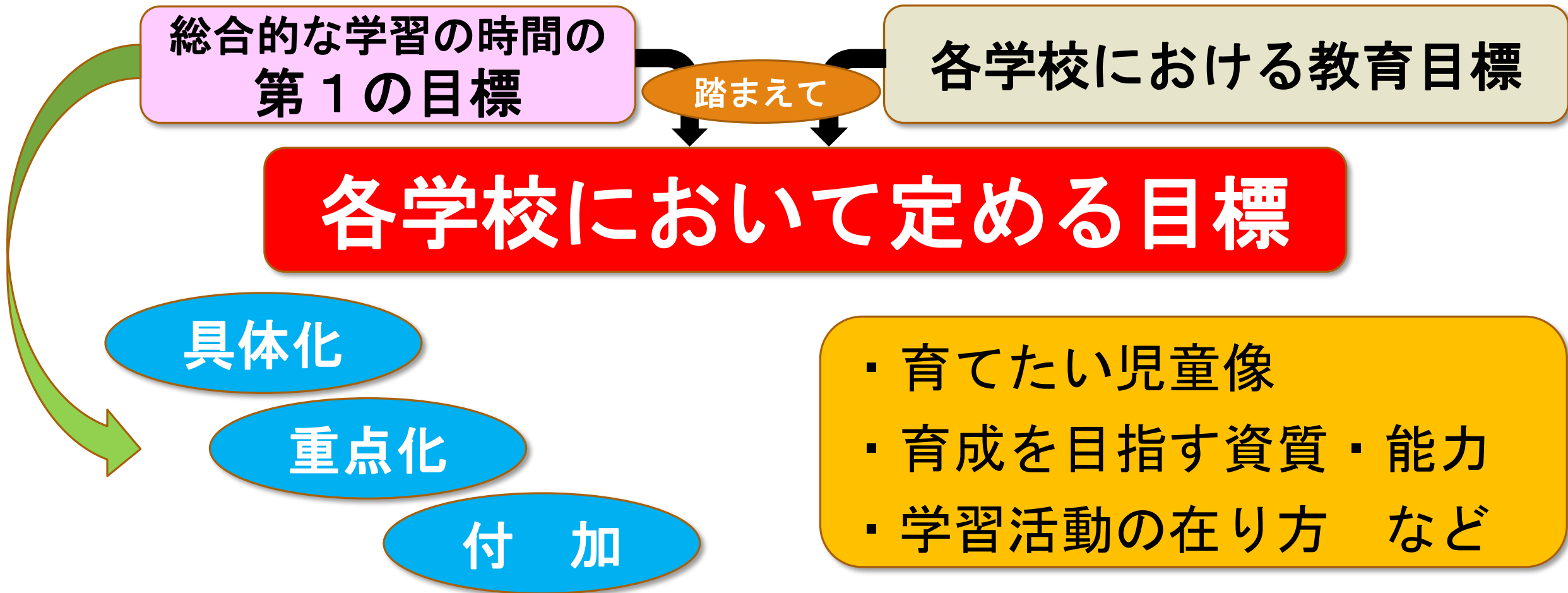


全体計画の様式例



IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定



探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づく。
- (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

設定例

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

具体化

設定例

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

設定例

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

重点化

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

設定例

(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気付き、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。

具体化

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

設定例

(2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。

具体化

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

3 各学校において定める目標の設定

目標

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

設定例

(3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

付加

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

目標を実現するにふさわしい探究課題

目標の実現に向けて学校として設定した、児童が探究的な学習に取り組む課題であり、従来「**学習対象**」として説明されてきたもの

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

各学校において定める目標に記された資質・能力を各探究課題に即して具体的に示したものであり、教師の適切な指導の下、児童が各探究課題の解決に取り組む中で、育成することを旨とする資質・能力のこと

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

目標を実現するにふさわしい探究課題

①現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題

②地域や学校の特色に応じた課題

③児童の興味・関心に基づく課題

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

目標を実現するにふさわしい探究課題

① 現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題

- ・ 国際理解：地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観
- ・ 情報：情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化
- ・ 環境：身近な自然環境とそこに起きている環境問題
- ・ 福祉：身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々
- ・ 健康：毎日の健康な生活とストレスのある社会
- ・ 資源エネルギー：自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題
- ・ 食：食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者
- ・ 科学技術：科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化 など

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

目標を実現するにふさわしい探究課題

②地域や学校の特徴に応じた課題

- 町づくり：町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織
- 伝統文化：地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々
- 地域経済：商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会
- 防災：防災のための安全な町づくりとその取組 など

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

目標を実現するにふさわしい探究課題

③児童の興味・関心に基づく課題

- ・ キャリア：実社会で働く人々の姿と自己の将来
- ・ ものづくり：ものづくりの面白さや工夫と生活の発展
- ・ 生命：生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ など

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

①知識及び技能

②思考力、判断力、表現力等

③学びに向かう力、人間性等

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

①知識及び技能

- (例)
- ・ 生物は、色、形、大きさなどに違いがあり、生育の環境が異なること（多様性）
 - ・ 身近な自然において、生物はその周辺の環境と関わって生きていること（相互性）
 - ・ 自然環境は、様々な要因で常に変化する可能性があり、一定ではないこと（有限性）

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成





4 各学校が定める内容とは

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

②思考力、判断力、表現力等

解説 P 80

探究の過程における思考力、判断力、表現力等の深まり(例)

①課題の設定	②情報の収集	③整理・分析	④まとめ・表現
より複雑な問題状況 確かな見通し、仮説 	より効率的・効果的な手段 多様な方法からの選択 	より深い分析 確かな根拠付け 	より論理的で効果的な表現 内省の深まり 
例) ■問題状況の中から課題を 発見し設定する ■解決の方法や手順を考え、 見通しをもって計画を立てる など	例) ■情報収集の手段を選択する ■必要な情報を収集し、蓄積する など	例) ■問題状況における事実や 関係を把握し、理解する ■多様な情報にある特徴を 見付ける ■事象を比較したり関連付 けたりして課題解決に向 けて考える など	例) ■相手や目的に応じてわか りやすくまとめ表現する ■学習の進め方や仕方を振 り返り、学習や生活に生 かそうとする など

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

4 各学校が定める内容とは

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

③学びに向かう力、人間性等

解説P81

学びに向かう力、人間性等

	例) 自己理解・他者理解	例) 主体性・協働性	例) 将来展望・社会参画
自分自身に関する事	探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする	自分の意思で、目標をもって課題の解決に向けた探究に取り組もうとする	探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとする
他者や社会との関わりに関する事	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする	自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする	探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする

各学校において定める内容の具体例

目標を実現するにふさわしい

探究課題

第2の3(4)

〇〇町の伝統文化としての
の曳山及び学校の曳山に
関する特徴や歴史、曳山
を維持継承している人や
組織の存在、その人々の
思いや願い及び具体的な
取組 (伝統文化)

探究課題の解決を通して育成を目指す

具体的な資質・能力

第2の3(4)

知識及び技能

- ・ 〇〇町の伝統文化として曳山には特徴や歴史的背景、地域産業との関わりがあること
(固有性・相互性)
- ・ 曳山を維持継承している人々の思いやそこに存在する課題
(有限性・継承性)
- ・ 学校の曳山を受け継ぐことには価値があること
(協働性・創造性)

思考力、判断力、表現力等

- 〔課題の設定〕
曳山祭りに関心をもち、過去と現在の様子から課題を見付け～
- 〔情報の収集〕
曳山のよさに関する情報をアンケートや取材など多様な方法で収集しよう～
- 〔整理・分析〕
．．．．．～

学びに向かう力、人間性等

- ・ 曳山に関する活動を通して、伝統文化を継承しようと考えている方々と関わりながら、そのよさを追究しようとする。
- ・ 曳山祭りに向け、友達と協力して情報収集を繰り返す行い、～
- ・ 地域の伝統文化に参画できた自分自身に気づき、～

IV 総合的な学習の時間の指導計画の作成

5 年間指導計画の作成

解説 P97

総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画 (例)

年間指導計画(第4学年)	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月				
総合的な学習の時間(70)	大好きみどり川 ー出発! みどり川探検隊ー (28) ○川と繰り返し関わり、川への思いを深める。 ○活動で発見した気づき、思いを書きためる。 ○みどり川を愛する会の方と活動を共にして、みどり川への思いを知る。				大好きみどり川 ーとことん探究! みどり川探検隊ー (30) ○自分が興味をもったことについて探究し、川について自分の考えをもつ。 ○探検や調査活動を通して感じたこと、考えたこと、自分の思いを身近な人に伝える。							
国語(245)	本と出会う、友だちと出会う	段落のつながりに気をつけて読む	詩	伝えたいことをはっきりさせて書こう	本と友だちになろう 本のさがし方	調べて発表しよう	詩②	場面を比べて読もう	資料の選び方を考えよう	調べたことを知らせよう		
社会(90)	住みよいくらしをつくる 地図の見方 ごみのしまつと利用		水はどこから		山ろくに広がる用水		のこしたいもの つたえたいもの	わたしたちの県 県のようにすくらしと土地のようす				
算数(175)	大きな数	円と球	わり算	1けたでわるわり算	資料の整理	角	三角形	2けたでわるわり算	面積	小数	がい数	
理科(105)	あたたかくなると	電気のはたらき		暑くなると	夏の星	私の研究	もののかさと力	もののかさと温度	水のすがたとゆくえ			
音楽(60)	歌と楽器のひびきを合わせよう			日本の音楽に親しもう ・花笠音頭 神田ばやし ・こきりこぶし		いろいろな音のちがいをかんじとろう みどり川の音を作ろう			ふしのとくちょうをかんじとろう 曲の気分をかんじとろう			
図工(60)	たしかめながら	ざいりょう物語		きらきら光る絵	絵の具のふしぎ		石ころアート	みどり川の生き物	わすれられない日			
体育(105)	集団行動	かけっこ・リレー	リズムダンス	一輪車	体力テスト	水泳		男女の体にズームイン	サッカー		ジョギング	マット運動
	バスケットボール	スポーツフェスティバルに向けて		ハンドベースボール			ハードル走			跳び箱運動		

V プログラミング教育について

第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2

(9) 情報に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。第1章総則の第3の1の(3)のイに掲げるプログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う場合には、プログラミングを体験することが、**探究的な学習の過程に適切に位置付くようにすること。**

情報に関する課題について探究的に学習する過程において、自分たちの暮らしとプログラミングとの関係を考え、プログラミングを体験しながらそのよさや課題に気付き、現在や将来の自分の生活や生き方と繋げて考えることが必要である。

解説P64

V プログラミング教育について

探究課題 「情報化の進展と生活や社会の変化」

カプセルトイの
販売機

ジュースの
自動販売機

中では何が起きているのだろうか・・・？

「プログラム」が
動いている！

自動販売機の中で起きていることをプログラミングする体験

- ・ 機械の中にあるもの
- ・ 機械に人間が考えた動きをさせるための命令
- ・ 効率的に、順序立てた命令文の積み重ね

ライフライン

AI

ロボット

コンピュータ
ウイルス

ネット詐欺

- ・ 人間らしさとは何か
- ・ 人間にしかできないこととは何か
- ・ 人間としてどのように暮らしていけばいいのだろうか

自分の生き方を
考え直す

V プログラミング教育について

小学校プログラミング教育の手引（第二版）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm